

企画展「中津川と青邨」を開催しています

前田青邨画伯が中津川の人から依頼され描いた作品をはじめ、中津川の風景や親友を描いたスケッチなどを展示した企画展を開催しています。

■会期

令和3年6月26日(土)～7月25日(日)
9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)
※月曜休館

【作品説明会(記者の方向け)】

令和3年7月2日(金) 13時30分～

■会場

中津川市苗木遠山史料館 2階特別展示室(中津川市苗木2897番地の2)

■入館料

一般: 330円
小中学生以下: 無料

■内容

芸術家として大成した前田青邨画伯は、終生、ふるさと中津川を愛し、恵那山を代表とする中津川の風景や、支援や影響を受けた人たちを忘れることありませんでした。

特に中山道や街並み、苗木城跡に対しては、「残していかなければならない貴重な文化遺産」であるとの思いから、中津川に帰郷する度に、その姿をスケッチし、手元に置いて眺めていたといわれています。

今回の展示会では、中津川の人から依頼され描いた作品をはじめ、中津川の風景や親友を描いたスケッチなどを展示します。画伯の中津川への想いととも、画伯の優れた線描の妙、豊かな色彩を味わっていただけます。

【展示作品の特徴】

・「恵那山」

冊子『日本希元素鉱物』(長島乙吉・長島弘三 共著)の表面として描いた作品。

前山と後に恵那山が控える構図は、青邨が想う、郷里中津川を象徴する風景である。

・「鮎」

作品の中央に、朴の木の葉の上に丸々と太った鮎が三匹、そして青楓の葉が、鮎を愛おしむように置かれている。葉の濃淡は、青邨画伯得意の緑青のたらし込みで表現、葉脈は偽りのない確かな線描で、鮎は細部まで丁寧に描きこまれている。青邨は、好物である川魚や中津川でよく食した鮎や鯉を題材にした作品を数多く発表している。

・その他

中津川を取材したスケッチなども展示。

【主な作品】

- 1 「袈裟御前」紙本着色／82.7cm×109.2cm
- 2 「鮎」紙本着色／42.0 cm×57.2 cm
- 3 「恵那山」紙本水墨／26.5 cm×38.7 cm
- 4 「畑時能」板着色／82.5cm×45.0cm
- 5 「所太夫房快舜」板着色／82.5cm×45.0cm
- 6 「中津川横町」(スケッチ)／紙本水墨／19.5cm×28.1cm
- 7 「炊事(恵下疎開)」(スケッチ)／紙本水墨淡彩／22.0cm×28.0cm
- 8 「自画像」(スケッチ)紙本淡彩／21.7cm×33.3cm
- 9 「苗木町旧家」(スケッチ)紙本水墨／20.8cm×27.7cm

お問い合わせ先

文化スポーツ部 文化振興課 文化振興係 担当者：上田

電話：0573-66-1111 (内線 4318)

2021年

6月26日(土) → 7月25日(日)

開館時間=午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料=一般330円・小中学生以下無料

会場=中津川市苗木遠山史料館2階特別展示室

【土曜講座】「みどころ解説!」6月12日(土) 13:30~15:00

■講師:上田智美(学芸員) ■対象:一般 ■受講料:無料(入館料のみ)

■お問合せ先:苗木遠山史料館

中津川市苗木遠山史料館

〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2

【TEL】0573-66-8181 【FAX】0573-66-9290

<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/index.html>

中津川
と
青邨

Nakatsugawa

Seison

Seison and Nakatsugawa

